

【地権者の決意】

私は「佐賀空港への自衛隊オスプレイ等配備反対地域住民の会」会長の古賀初次です。計画予定地の地権者です。2014年から始まった、この問題、今年9年目を迎えました。

オスプレイに反対する9つの理由があります。

1. オスプレイは、よく落ちる危険な飛行物体です。
2. 騒音や低周波により、安心安全な生活が送れるか心配です。
3. ノリ養殖業への被害が心配です。
4. 農業への被害も心配です。
5. 渡り鳥の楽園、東よか干潟に来る鳥はどうなる。
6. 佐賀平野の空はバルーンが飛ぶ平和な空です。
7. 「公害防止協定」は自衛隊との共用を否定しています。
8. 私たちの住む町を戦禍に巻き込む危険があります。
9. 自衛隊の次には、必ず米軍がやって来ます。

以上の理由から反対運動を続けてきました。

しかしながら、これらの問題を先送りし、解決策を示さぬまま、防衛省は佐賀県、有明海漁協、佐賀市等の外堀を埋め、今年5月、私たちが所属する漁協南川副支所の地権者を金で買って、土地売買の契約を結んでしまいました。

何故、地権者の多くが土地を売る気になったのか、私には理解できません。筑後大堰や諫早干拓締切などの公共工事で、「宝の海」である有明海はいためつけられてきており、今回の自衛隊基地建設による排水などの影響で、さらに「死の海」へと悪化する恐れがある事に気付かないのでしょうか！ 残念でなりません！

また、国にだまされていいのか？ と言いたい！

一旦、基地ができてしまえば、オスプレイやヘリコプターが頻繁に飛び交うようになり、米軍との共同訓練が日常的に行われる事になります。後戻りはありません。考えただけでもゾッとします。

私たち地権者は、土地を売るとも言っていないのに、見切り発車で建設工事を始めた国（防衛省）に対し、「自衛隊基地建設差し止めの裁判」を行います。この裁判が佐賀空港の軍用空港化をやめさせるための重要な手段であると確信しています。

皆様には、これまで同様のご支援、ご協力をお願いし、私の決意表明とします。

令和5年7月29日

地権者 古賀初次